



# 平成 23 年 10 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 9 月 5 日

上場会社名 萩原工業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7856

URL <http://www.hagihara.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 萩原 邦章

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員事業支援部門長

(氏名) 浅野 和志

(TEL) 086(440)0860

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 9 月 8 日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成 23 年 10 月期第 3 四半期の連結業績 (平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 7 月 31 日)

### (1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23 年 10 月期第 3 四半期	15,935	13.6	1,568	14.7	1,637	17.6	977	19.2
22 年 10 月期第 3 四半期	14,032	1.8	1,368	61.6	1,391	75.7	819	96.4

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23 年 10 月期第 3 四半期	148.17	—
22 年 10 月期第 3 四半期	136.76	—

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1 株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23 年 10 月期第 3 四半期	18,952	11,131	58.7	1,668.10
22 年 10 月期	17,862	10,375	58.1	1,573.51

(参考) 自己資本 23 年 10 月期第 3 四半期 11,130 百万円 22 年 10 月期 10,375 百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22 年 10 月期	—	15.00	—	15.00	30.00
23 年 10 月期	—	15.00	—		
23 年 10 月期(予想)				20.00	35.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 : 有

詳細につきましては本日 (平成 23 年 9 月 5 日) 公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 平成 23 年 10 月期の連結業績予想 (平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	20,000	7.5	1,950	10.2	2,000	12.7	1,180	12.0	178.96

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

詳細につきましては本日 (平成 23 年 9 月 5 日) 公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他 (詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。)

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 : 無

(注) 当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 有

(注) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 : 有

② ①以外の変更 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	23年10月期3Q	6,598,800株	22年10月期	6,598,800株
② 期末自己株式数	23年10月期3Q	5,015株	22年10月期	4,983株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	23年10月期3Q	6,593,798株	22年10月期3Q	5,995,063株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考) 個別業績の概要

平成 23 年 10 月期の個別業績予想 (平成 22 年 11 月 1 日～平成 23 年 10 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売 上 高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株 当 たり 当 期 純 利 益
通 期	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
	19,000	11.5	1,740	12.5	1,870	15.7	1,120	17.4	169.86

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 : 有

詳細につきましては本日 (平成 23 年 9 月 5 日) 公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により依然として厳しい状況にあるなかで、一部景気に持ち直しに向けた動きが見られたものの、雇用情勢の持ち直しの鈍化、海外景気の下振れ、デフレの影響などの悪化懸念が残っており、経済全体の先行きは不透明な状況が続きました。

このような状況のもと、当社グループにおきましては、メーカーとして原点回帰するとともに、圧倒的優位を確保するための成長戦略の立案仕込みと着実な遂行を目指し、「事業基盤の整備強化と成長戦略の着実遂行」を社長方針に掲げ、「労働環境の改善整備」、「機械装備率の向上」、「最適生産体制の再構築」、「新製品・高機能化開発の継続強化」及び「海外市場開拓の強化拡大」を重点指針として各種施策に取り組んでおります。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は159億35百万円（前年同四半期比13.6%増）、営業利益15億68百万円（前年同四半期比14.7%増）、経常利益16億37百万円（前年同四半期比17.6%増）となり、当第3四半期純利益は9億77百万円（前年同四半期比19.2%増）となりました。

## [合成樹脂加工製品事業]

合成樹脂加工製品事業におきましては、合成樹脂原料価格の急激な上昇に伴い、製品価格への転嫁を急ぐ状況のなか、拡大戦略製品を中心に積極的な営業活動を継続し、売上高及び収益確保に努める一方、売上原価率の低減及び販売管理費の削減に注力してまいりました。

海外子会社におきましては、在インドネシアの子会社「ハギハラ・ウエストジャワ・インダストリーズ社」は、収益性を重視した営業活動を強化し業績は回復基調にあります。在中国の子会社「青島萩原工業有限公司」の業績は概ね順調に推移しました。

## [機械製品事業]

機械製品事業におきましては、二次電池材料用途の需要増加により、スリッター関連機器の需要も増加し、受注量は増加傾向にあります。開発要素が高く、戦略的な開発と生産革新による競争優位性の確保に努めてまいりました。一方では、既存顧客へのインシエア拡大、新規顧客開拓、新興国向け製品開発及び「Converttech China2011」など中国国際展覧会に出展するなど積極的に取り組んでまいりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は189億52百万円となり、前連結会計年度末に比べ10億90百万円の増加となりました。

資産では、流動資産が受取手形及び売掛金の増加等により10億46百万円増加し、固定資産は無形固定資産が増加したこと等により、44百万円増加しました。

負債では、流動負債が支払手形及び買掛金の増加等により6億62百万円増加し、固定負債は長期借入金の約定返済等により3億27百万円減少しました。

純資産は、利益剰余金の増加等により7億55百万円増加しました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績の見通しにつきましては、平成23年9月5日公表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」のとおり修正しております。

なお、業績予想は、同資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成しており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

① 第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」(企業会計基準第18号 平成20年3月31日)及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日)を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の税金等調整前四半期純利益は12,750千円減少しております。

② 「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成20年12月26日)に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」(平成21年3月24日 内閣府令第5号)の適用により、当第3四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純利益」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,504,899	1,924,054
受取手形及び売掛金	5,612,882	4,560,790
商品及び製品	981,568	782,258
仕掛品	1,665,805	1,655,326
原材料及び貯蔵品	736,032	550,286
その他	616,812	596,336
貸倒引当金	△11,865	△9,418
流動資産合計	11,106,135	10,059,634
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,937,686	2,072,464
機械装置及び運搬具(純額)	1,667,838	1,723,028
工具、器具及び備品(純額)	130,040	111,351
土地	2,304,479	2,304,479
建設仮勘定	72,986	64,000
有形固定資産合計	6,113,030	6,275,324
無形固定資産		
のれん	26,076	39,669
その他	154,020	34,873
無形固定資産合計	180,097	74,542
投資その他の資産		
保険積立金	1,069,262	1,041,461
その他	506,811	438,088
貸倒引当金	△22,442	△27,048
投資その他の資産合計	1,553,631	1,452,502
固定資産合計	7,846,759	7,802,369
資産合計	18,952,895	17,862,004

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成23年7月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,035,205	2,304,838
短期借入金	1,346,635	1,342,313
未払法人税等	315,480	478,151
賞与引当金	240,943	413,680
製品保証引当金	28,651	17,224
その他	1,470,139	1,217,988
流動負債合計	6,437,055	5,774,196
固定負債		
長期借入金	881,176	1,261,896
退職給付引当金	202,570	149,852
役員退職慰労引当金	223,789	236,792
その他	76,933	63,407
固定負債合計	1,384,468	1,711,948
負債合計	7,821,524	7,486,145
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,274,858	1,274,858
資本剰余金	889,658	889,658
利益剰余金	9,254,274	8,475,064
自己株式	△2,752	△2,722
株主資本合計	11,416,038	10,636,858
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	484	△2,598
繰延ヘッジ損益	△5,724	△3,812
為替換算調整勘定	△279,848	△254,988
評価・換算差額等合計	△285,088	△261,399
少数株主持分	420	400
純資産合計	11,131,370	10,375,859
負債純資産合計	18,952,895	17,862,004



(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成21年11月1日 至平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成22年11月1日 至平成23年7月31日)
売上高	14,032,956	15,935,511
売上原価	10,094,707	11,579,993
売上総利益	3,938,248	4,355,517
販売費及び一般管理費	2,570,143	2,786,754
営業利益	1,368,105	1,568,762
営業外収益		
受取利息	1,747	1,667
受取配当金	1,226	1,261
受取保険金	102,186	96,655
その他	28,888	24,506
営業外収益合計	134,049	124,091
営業外費用		
支払利息	36,406	24,961
売上割引	22,110	23,857
為替差損	26,372	—
その他	25,601	6,759
営業外費用合計	110,491	55,578
経常利益	1,391,663	1,637,275
特別利益		
固定資産売却益	4,169	995
貸倒引当金戻入額	—	4,605
特別利益合計	4,169	5,601
特別損失		
固定資産除却損	3,968	8,234
固定資産売却損	49	—
投資有価証券評価損	824	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,750
特別損失合計	4,843	20,984
税金等調整前四半期純利益	1,390,990	1,621,892
法人税等	571,037	644,827
少数株主損益調整前四半期純利益	—	977,064
少数株主利益	72	40
四半期純利益	819,880	977,024

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成21年11月1日 至 平成22年7月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成22年11月1日 至 平成23年7月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,390,990	1,621,892
減価償却費	560,456	584,043
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	12,750
のれん償却額	14,801	13,592
貸倒引当金の増減額(△は減少)	18,004	△2,158
退職給付引当金の増減額(△は減少)	15,149	55,942
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△93,458	△13,003
受取利息及び受取配当金	△2,974	△2,929
支払利息	36,406	24,961
固定資産除売却損益(△は益)	△151	7,238
売上債権の増減額(△は増加)	△716,194	△1,055,432
たな卸資産の増減額(△は増加)	△286,926	△411,987
仕入債務の増減額(△は減少)	95,706	802,253
その他	57,455	△37,024
小計	1,089,265	1,600,138
利息及び配当金の受取額	3,016	2,924
利息の支払額	△40,659	△24,224
法人税等の支払額	△262,620	△807,909
営業活動によるキャッシュ・フロー	789,002	770,929
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額(△は増加)	36,730	—
有形固定資産の取得による支出	△436,804	△541,459
有形固定資産の売却による収入	6,774	5,282
投資有価証券の取得による支出	—	△6,353
長期貸付金の回収による収入	9,289	6,223
保険積立金の増減額(△は増加)	97,334	△27,801
その他	△17	△76,307
投資活動によるキャッシュ・フロー	△286,692	△640,415
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の増減額(△は減少)	△252,851	196,107
長期借入れによる収入	408,480	122,565
長期借入金の返済による支出	△805,078	△672,798
自己株式の取得による支出	△92	△29
配当金の支払額	△163,856	△198,152
財務活動によるキャッシュ・フロー	△813,398	△552,308
現金及び現金同等物に係る換算差額	14,061	2,880
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△297,026	△418,915
現金及び現金同等物の期首残高	1,661,221	1,749,054
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,364,194	1,330,139

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。